シリーズ
知っていますか？
町のスポット

第8回　地域の歴史スポット part2

阪急園田駅の北西、北に向かう道路沿いの側溝に架かる鉄筋コンクリート製の橋を、ご存知ですか？北から順番に「一の橋」から「十二の橋」まであって「数え橋」と言います。
1937 年（昭和 12 年）に、園田駅周辺が住宅地として開発され、北に向かって直線道路が通りました。それまでに、この辺りにあった 6 ヶ村が利用していた 3 筋に分かれていた農業用水路を、その直線道路に合わせて、直線の側溝として整備し、流路が作られました。そして側溝の、横断歩道毎に橋を架けたのが数え橋です。
道案内をする時に、「三の橋を渡ったところです」と便利かもしれませんね。

気になる町の「歴史スポット」は
愛逢事務所までご一報ください！
☎ 06-6493-1424

2022年度
ご寄付をいただきました皆さま
ありがとうございました （敬称略）

松井泰子・坂本敬子・小中島ふれあいお食事会
海士美雪・橋平浩子・徳岡富志代・小林廣子
匿名希望 1 名

緊急！
裏紙ください

※A4 サイズのもの
※個人情報の記載がないもの
…でお願いします

愛逢ではひと月に約 700～800 枚近くのコピー用紙を使用します。しかし、すべてを真っ白な新しい紙に印刷しなければいけないものばかりではありません。
SDG s の 12 項目目に「ゴミが出ることを防いだり、リサイクルやリユースをして、ゴミの発生を大きく減らす」とあるように、あらゆるものの再利用が必要とされています。再利用せずに新しいものばかり使うのでは、経費がかかる一方です。
そこで、みなさんのご家庭に裏面が白紙になっている紙資源はありませんか？あれば、ぜひご提供ください。

ほっと待夢（たいむ）

四つ葉を求めて

八十路を迎えてもいつまでも 12,3 歳の頃のように春になると公園で「白詰草（しろつめぐさ）＝クローバーの和名」の中に四つ葉を探している自分に呆れています。3 年前、4 枚の葉っぱが綺麗にそろった 1 本を見つけて嬉しくなり、大切に持ち帰り押し花にしています（苦笑）。
今年も 5 か所の公園を廻りました。先日ラジオで「梅雨と言えば、何を思い浮かべますか？」と問いかけていました。紫陽花かな？と思ったら白詰草だそうです。そういえば 4 月から咲き出し、6 月頃には特に沢山の密集を見かけたのを思い出しました。ご存知でしたか？？　（BA～BA 80）

第99号

愛逢（あいあい）

特定非営利活動法人 愛逢
尼崎市小中島１丁目５-10
TEL：06-6493-1424
FAX：06-6493-1443
発行責任者：橋平　浩子
発行日：2023 年 7 月 1 日

第20回通常総会を開催しました

6 月 10 日（土）小中島会館にて第 20 回通常総会を執り行いました。
正会員 42 名の内、出席者 21 名、書面表決 18 名、委任状 4 名の方々により、全 6 号の議案はすべて承認され、2022 年度も無事に終えることができました。
活動報告では、2022 年度新たにスタートした虹ふれランチや身体介護研修などの研修事業、介護保険及び障害者支援において「利用者さんにとって変わらない日常生活」が営めるよう意識したサービスの提供に努めた旨を報告させていただきました。
また、厳しい決算状況ではありましたが、2023 年度に向けて、法人ミッションや理念の柱のもと、安定した運営を目指した活動計画や予算についても提案し、質問も受けながらご承認いただきました。
さらに、今年度は役員改選の年でもあり、新たに 3 名の理事を迎えてのスタートです。
私たち愛逢は、困ったことが起きたときに「頼れる事業所でありたい」、悩んだときに「相談できる事業所でありたい」、利用者さんが安心してその人らしい生活をし続けられるよう「寄り添い、支えることができる事業所でありたい」、スタッフが笑顔で活動し続けられるように「楽しい職場でありたい」と、鋭意努力してまいります。
引き続き、見守り、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

NPO 法人　愛逢ミッション（社会的使命）

私たちは、多様な生き方が尊重され誰もが安心して暮らせる
地域をつくる為に仲間と支えあい（愛）、つなぎあ（逢）ってきます

NPO法人愛逢は、地域の皆様が日常生活で「困ったなぁ…」と思った時に、どなたでも、お気軽にご相談いただける場所です。様々な形の“困った時はお互い様精神”が愛逢の掲げる思いとして、今日も活動しております。

夏場の外出の味方?! 日陰だけを通って買い物
～交通ルールを守って快適に～

昨年 10 月に園田東生涯学習プラザで開催された「買い物支援を考える会」に職員が参加した時のお話です。

ある出席者の方が「ウチの奥さんは、夏場買い物に行くときに、上手に日陰だけを通って行くんですよぉぉ～。あれには、感心しました。」とお話しされたのを聞き、貪欲な職員は「時期が来たら、絶対に愛逢ニュースの記事にしよう…」と企んでいました(^^♪

そして、ついにその時が！！さっそく、取材のお願いをし、快く受けて下さったのは、その時のお話でご主人に感心された、若王寺在住の奥さまです。

日に焼けるのが嫌でねぇ。とにかく、午前と午後の太陽の位置を考えて、日陰を見つけています。あとは、建物の影をうまく利用しています。ただ、それでも車がたくさん通る道もあるから、そんな道は主人と一緒の時にしか通らないようにしてるのよ。

これこそ、住み続けてきた地域での生活の知恵ですね。今回取材をさせてもらって、まだまだ「住み慣れた地域」での生活の知恵が隠れていそうな気がしました。

どんどん掘り起こして行きたいと思います。皆さんも、何かあればどんどん教えてくださいね。

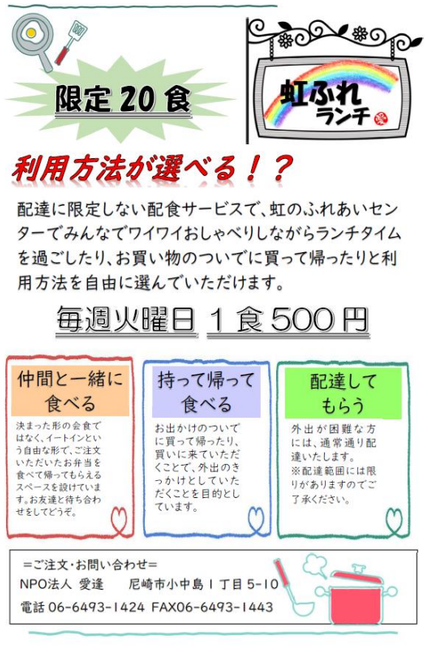
７月 11 日（火）11:30～12:30　虹ふれランチ合同企画
「祝!復活あいあい Day!! ～一緒に食べよう虹ふれランチ～」

毎週火曜日に 20 食限定で実施している「虹ふれランチ」ですが、新型コロナウイルス感染対策により、お持ち帰りと一部配達のみで実施してまいりました。

感染症分類の緩和により、7 月 11 日（火）より虹のふれあいセンターでの“一緒に食べる”が可能となります。

虹ふれランチ開始当初から、今か今かとお待ちいただいているとの声も多く聞いておりました。当日は、あいあい Day（毎月 11 日実施。詳細は挟み込みのご案内チラシをご覧ください）との合同企画により、ふれあいセンターに足をお運びいただき、その場でご一緒に食べられる方は、250 円（通常 500 円）でお召し上がりいただけます。

※少しだけ感想や食事スペースについてご意見をお聞かせください。



2023 年度活動計画　～今年度、愛逢が頑張りたいことです!～

■配食サービス
- ボランティア仲間を増やすための積極的な声かけと、試食会や新メニューの考案を実施する。
- 「虹ふれランチ」による、多様な形の“食べる”をきっかけに「虹のふれあいセンター」を地域住民の交流の場として、活性化していく。

■生活支援
- 地域の困りごとをはじめ、誰もが安心して利用できるよう資格保持者が専門性をもって対応する。

■訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業
- 在宅で安心して、その人らしく暮らし続けられるよう、切れ目のない連携で支援を行う。
- 介護過程における ICF モデルなど、研修計画を作成し、ヘルパーの意欲とスキルアップにつなげる。

■居宅介護支援事業
- 事業再開については討議を進め結論を出すが、結果に関わらず、相談支援ネットワーク「みなくるネット」などで、相談支援の知識とスキルを高める。

■指定障害福祉サービス事業（居宅・重度訪問・同行援護）
- 利用者の生活習慣、体調管理を意識し、その人らしい暮らしが継続できるように支援する。
- 利用者の意欲を引き出すような働きかけで、自立に向けた支援を行う。

■移動支援事業
- 季節を楽しむ移動先を利用者と共に考え、安心して地域になじめるために、地域資源の活用や行事に参加できるように働きかける。

■保険・医療・福祉に係わる啓発及び教育研修事業
- 地域住民との学び合いの場として、「ともいきミーティング」を主催し、地域活動と福祉事業が協同できる地域づくりに尽力する。

■終末期支援事業「ホームホスピス愛逢の家」
- 暮らしとケアの質の向上及び基盤づくりとして、愛逢の家の理念及びホームホスピスの基準、ケアの根拠に基づいたスタッフの育成を行う。
- 感染症や、地震などの「災害」に対して日頃からの備えと体制を強化し、発生時は、医療や関係機関、事務局などと連携し、住人・スタッフを守り、暮らしの質を維持する。
- 楽しみや交流の機会を柔軟に創出し、住人の日々の願いをとも暮らしの中で実現していく。
- 最期まで、口から美味しく楽しく食べられる食事を継続して提供する。
- 愛逢の家内で開く場を設けるなど、地域の住民・団体との交流・協力を深める。

■地域の各機関との連携・交流事業
- 園田地区連携会議「そのだ会」で、地域住民と多職種・行政が互いに身近な存在となり、園田地区における地域包括ケアの推進に取り組む。
- 居場所づくり事業として、「みなくる☆そのだ」の運営や、サロン開催にも協力する。
- 「園田地区子育て支援連絡会」で、担うべき役割を模索する。
- 「小中島地区高齢者見守り安心委員会」では推進委員として関わり、事務局としての役割も担当。
- 近隣事業所のスタッフ同士が「根っこの会」で交流し、地域活動や各種事業での連携に繋げる。
- 「みとりまち実行委員会」では、“みとりまちカフェ”や“めぐる文庫”など、多世代における看取りの文化の醸成及び地域住民主体の看取りの実現に向けて積極的に取り組む。
- 愛逢誕生 30 年の節目に向けて、「re:くらぶ」で「愛逢くらぶ」時代の原点に立ち戻り、改めてより地域に密着した活動を進める。

■広報
- 10 月に愛逢ニュース創刊第 100 号となり、復刻版仕様の「特別号」を発行する。
- 広報チームで、ホームページの更新をこまめに行い、見やすく伝わりやすい内容を維持する。

■その他
- 「目的がある居場所」として、誰もが使いやすく過ごしやすい、「虹のふれあいセンター」のリニューアルを進める。
- スタッフ一人ひとりが働きやすい職場環境を目指し、キャリアアップとしての研修計画を作成する。研修での学びを、日常業務に活かすために報告書様式の改定や、PDCA 用紙の導入を実施する。